

安心安全な地区づくりを目指して

一般社団法人 西創成親和会
理事長 松 野 哲 也

近年、災害が大規模化・多様化し、日本各地で大地震、火山噴火や大雨による災害が頻発しているなか、地区内に薄野のという大繁華街の一部を持つ、ここ西創成地区では、全国的に進む少子高齢化はもとより、若い世代を中心とした人口の流出入が激しく、人と人とのつながりが希薄化するなど、地域コミュニティの弱体化が進むなど、災害によるリスクが高まりつつあります。

このようななか、15ある単位町内会で構成する、私ども西創成親和会では、地区の防災力向上を効果的に図り、災害による被害をできるだけ少なくするため、札幌市のモデル事業として「西創成地区防災計画」の策定を進めてまいりました。

昨年3月の「熊本地震の避難所運営に学ぶ」をテーマにした山口大学大学院の村上ひとみ先生による研修会から始まり、策定作業では、三重大学の川口 淳先生の講演をいただきながらのワールドカフェ方式による防災座談会など5回のワークショップを実施、また、避難所運営について西創成地区住民の基幹避難所である、資生館小学校と中島中学校のそれぞれにおいて図上訓練（HUG）を含めた検討会を2回ずつ実施し、それぞれの避難所運営マニュアルを作成するなど、各町内会の皆様の積極的な参画により、「西創成地区防災計画」を作ることができ、本年2月に晴れて「札幌市地域防災計画」のなかに定められましたこと、心から御礼申し上げます。

今後は、この計画に基づく防災訓練を実施するなど、地区住民の皆様と事業者様が連携しながら防災活動に取り組み、本計画の検証・見直しを行い、その活動のなかで、人と人とのつながり、住民の皆様と事業者様などとのつながりをさらに深めることで、地区の防災力向上を図り、より一層安心安全な地区づくりを目指してまいります。

最後に、今後とも皆様の絶大なるご理解とご協力をお願いするとともに、皆様のご多幸とますますのご発展をご祈念申し上げます。

平成30年2月